

コード	205020303
記入日	H23.6.1

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	山川 吉郎

事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	普通河川曾根川改修事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	3
基本事業コード	20502	基本事業名称	治山・治水対策の推進	目コード	1
事務事業コード	2050203	事務事業名称	単独事業費(河川)	細目コード	77
関連計画	新上五島町振興計画		法令・条例規則等	河川法	

計画 (PLAN)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する河川の周辺住民	(対象2)	(対象指標1)	30世帯			(対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率(上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・ 全体改修延長 L=115.1m ・ 全体事業費 13,013千円	・ 改修延長 L=91.3m ・ 事業費 10,013千円 ・ 水路工 L=91.3m	改修延長	115.1m	100%	改修延長+計画延長	平成22年度
		改修延長	91.3m	95%		平成22年度
		① (達成率分析)	本年度の計画延長は96.2mとしていたが実施は91.3mで完成となった。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率(上段：全体、下段：評価年度)				
・ 本河川は、一部が未整備で豪雨時に護岸が洗掘されている状況である。本河川を改修することにより河川の氾濫を防止し周辺住民の安全の確保を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		進捗率	13,013千円	100%	事業費+全体事業費	平成22年度
		① 進捗率	10,013千円	91%		平成22年度
		② (達成率分析)	工事着工から本年度まで事業は計画どおり進み完成となった。			
		③ (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画 H 21 ~ H 22		21年度以前	22年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	①	m	115.1	115.1	23.8	96.2	91.3
	②						
成果指標	①	%	100	100	23	79	77
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	16,100	15,113	4,400	11,700	10,713	
直接事業費 A	千円	14,000	13,013	3,000	11,000	10,013	
人件費 B	千円	2,100	2,100	1,400	700	700	
内訳	従事職員数	人	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円		9,500			9,500
	起債	千円	13,200	2,800	2,800	10,400	
	その他	千円					
一般財源	千円	2,900	2,813	1,600	1,300	1,213	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	河川管理者である町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	河川の安全性・機能性については、普遍的なものであり町が行う必要がある。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい いいえ	理由	河川周辺住民とすることで適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理由	河川周辺住民の利便性及び安全性が確保された。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	計画どおり実施された。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	河川の機能及び安全性が確保できない。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい いいえ	理由	河川管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	計画どおり事業目的を達成できた。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2 次 評 価	河川災害の防止・住民の生活環境保全として有効である。引き続き維持管理に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。